



中里薬師堂薬師三尊像など、市指定文化財を特別展示  
杉村楚人冠記念館冬季企画展「あびこのほとけ」

ジャーナリストの杉村楚人冠は、幼い頃から仏教にふれあい、強い関心を寄せていました。今回の展示では、楚人冠の仏教に対する考え方や思いが分かる資料をはじめ、杉村楚人冠記念館所蔵の仏像を展示し、楚人冠と仏教の関係を考えます。

また、中里薬師堂諸尊や白泉寺待道講版木<sup>はくせんじまつどっこう</sup>など、市の指定文化財を特別展示し、我孫子と仏教の関わりも紹介します。

期 間：令和5年10月7日（土）～令和6年3月3日（日）

※市指定文化財の展示は12月10日（日）まで

時 間：午前9時～午後4時30分（入館4時まで）

休館日：月曜日※祝日の場合は翌平日

場 所：杉村楚人冠記念館

展示数：9点（うち市の指定文化財は2点）

入館料：300円（高校・大学生200円、中学生以下無料）

### 主な展示作品

#### ◎仏像 [聖観世音菩薩]

大正から平成にかけて活躍した彫刻家・山本稚彦<sup>わかひこ</sup>の作品です。楚人冠の教え子であり、カルピス株式会社の創業者でもある三島海雲が楚人冠の死後、自身のカルピス株式会社社長復帰を記念して、楚人冠の遺族に贈ったものです。本像はその姿の類似から、兵庫県の鶴林寺聖観世音菩薩像をモデルにしたと考えられます。

#### ◎中里薬師堂薬師三尊像および十二神将立像中卯神像・辰神像

薬師三尊と十二神将が一具として現在まで残されている、貴重な作例です。中尊は秘仏として、毎年2月11日に行われる御開帳の時にのみ、拝見できます。その作風や亥神像の胎内文書から分かる修理の年から、江戸時代後期（18世紀）の作と推定されます。今回の展示では、薬師三尊の他、今年と来年の干支に結び付けられる十二神将中卯神像・辰神像を展示します。

#### 【問い合わせ】

我孫子市教育委員会生涯学習部  
文化・スポーツ課 杉村楚人冠記念館  
担当：武藤

☎ 04-7187-1131

冬季企画展 令和五年十月七日(土)～令和六年三月三日(日)

# あびこのほとけ



杉村楚人冠宅邸園にて、観音像と僧侶（像は現存せず）

中里薬師堂薬師三尊像をはじめ、  
市指定文化財を特別展示！  
※文化財展示は12月10日（日）まで



我孫子・中里薬師堂薬師三尊立像

楚人冠のほとけ、我孫子のほとけ…  
皆様を仏教の世界へご案内します。



物語の生まれるまち あびこ



我孫子市杉村楚人冠記念館

〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

The Haven Abiko, Chiba-ken …安息の地、千葉県我孫子

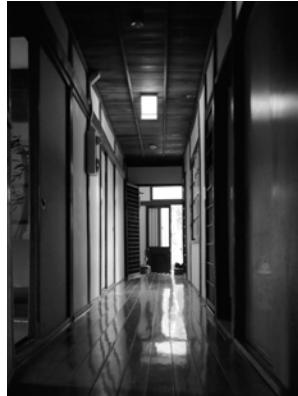
すぎむらそじんかん

# 杉村楚人冠の邸宅～古きよき大正から昭和が息づく家

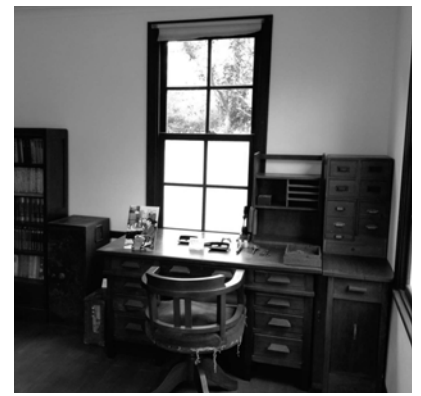
杉村楚人冠は明治45(1912)年、当地に別荘を設け、大正13(1924)年には一家でここに移住し、亡くなるまで過ごしました。ここで執筆した随筆「湖畔吟」<sup>こはんぎん</sup>には、我孫子の風景と人々の姿が生き生きと描かれています。邸宅の中心である和洋折衷式<sup>わようせつちゅうしき</sup>の母屋は、建築家下田菊太郎の設計で、茶室・蔵・澤の家<sup>さわ いえ</sup>と合わせ杉村楚人冠記念館を構成しています(我孫子市指定文化財)。現在残る邸宅敷地面積は約5,200㎡ですが、邸内には杉村楚人冠が植えた椿、梅、芭蕉のほか、彼が作った井戸や池、離れの風呂跡の貯水槽が残っており、大正から昭和にかけての文人の邸宅のたたずまいを残しています。



夥しい書籍が印象的な応接室「サロン」



玄関と台所を結ぶ「中廊下」



数々の名随筆が生み出された「書斎」

## 母屋の内部



現在の杉村楚人冠邸園



庭を散歩する楚人冠

## 園内の様子

### 我孫子市杉村楚人冠記念館

入館料 一般 300円  
 高校・大学生 200円  
 小・中学生 無料  
 団体20名以上2割引  
 開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)  
 休館日 毎週月曜日  
 (月曜が休日の場合、直後の平日)  
 年末年始(12月29日～1月3日)

